(総合職「経済理論」 第32回)

問題 15-2 ラーナーの独占度と価格設定の計算

ある売り手独占企業が、グループ 1 とグループ 2 の二つのグループに対して、財を生産・販売しています。グループ 1 の消費者の需要の価格弾力性は一定の ε_1 = 3 であり、グループ 2 の消費者の需要の価格弾力性は一定の ε_2 = 2 であるとします。また、生産・販売のための限界費用は一定で 30 です。

ここで、独占企業はグループ 1 とグループ 2 とで異なる価格を設定する差別価格を行うことができ、それぞれのグループにおける価格を p_1 、 p_2 とします。

このとき、この独占企業が各グループに設定する価格に関する記述として妥当なのはどれですか。 ただし、グループ i(i = 1,2)の需要関数を $x_i(P_i)$ とすると、グループ i の需要の価格弾力性は $\varepsilon_i = -\frac{P_i}{x_i(P_i)} \cdot \frac{d x_i(P_i)}{d P_i}$ とします。

- 1.p₁はp₂よりも10だけ高い
- 2. p₁ は p₂ よりも 15 だけ高い
- 3. p₁ と p₂ は同じである。
- 4. p₁ は p₂ よりも 10 だけ低い
- 5. p₁ は p₂ よりも 15 だけ低い

(国家総合職 改題)